

2017年6月28日

# 豪州CBH社の事業について

[1] エンデバー/ラスプ鉱山の生産状況

[2] 探査活動について

[3] 資源事業の取り組み

# CBH社の主要資産 豪州国内の位置関係



# CBH社の主要資産 NSW州内の位置関係

ラスプ鉱山



エンデバー鉱山



ニューキャッスル港  
シップローダー





## エンデバー鉱山の生産状況

- 2016年は2月以降粗鉱処理量10千トン/月の減産体制を実施
- 2017年は5月以降粗鉱処理量40千トン/月の生産体制へ復帰

	2016年 計画	2016年 実績	2017年 計画
粗鉱処理量	150千トン	199千トン	384千トン
亜鉛精鉱	17.5千トン	22.4千トン	44.6千トン
鉛精鉱	9.8千トン	13.9千トン	23.8千トン



# ラस्प鉱山の生産状況

- 2016年は計画通りの生産量を達成
- 2017年はプラントの能力に近い水準の生産量を計画

	2016年 計画	2016年 実績	2017年 計画
粗鉱処理量	610千トン	630千トン	703千トン
亜鉛精鉱	47.7千トン	47.1千トン	56.6千トン
鉛精鉱	25.7千トン	27.0千トン	25.6千トン



# エンデバー鉱山坑内の探査活動について

可採鉱量確保を目的に既存鉱体周辺3ヶ所を対象とした探査活動を実施

## Aエリア: 既存鉱体の最深部

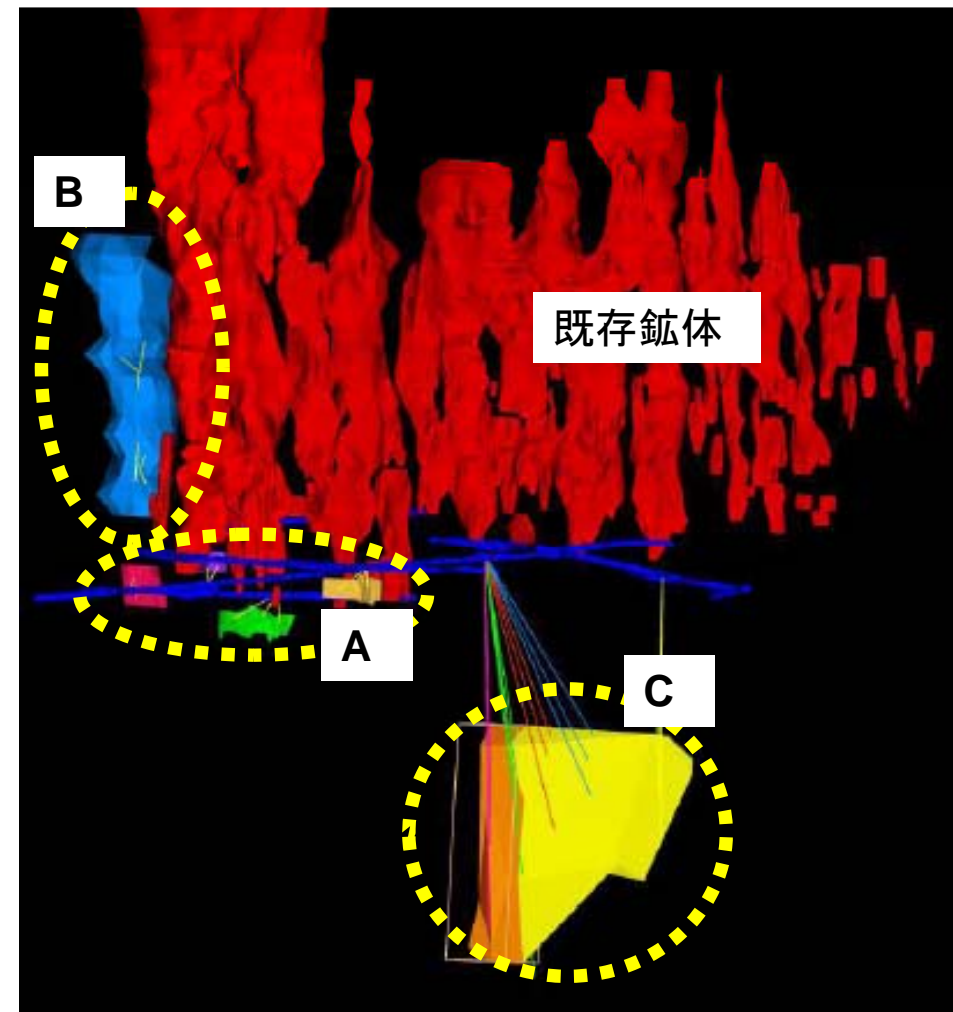
これまで実施したボーリングで良好な鉱兆を得ており**鉱量は限定的であるが短期的に採掘対象とする計画**

## Bエリア: 南側延長部の未調査領域

探査範囲の絞り込みを行いボーリングを開始した段階

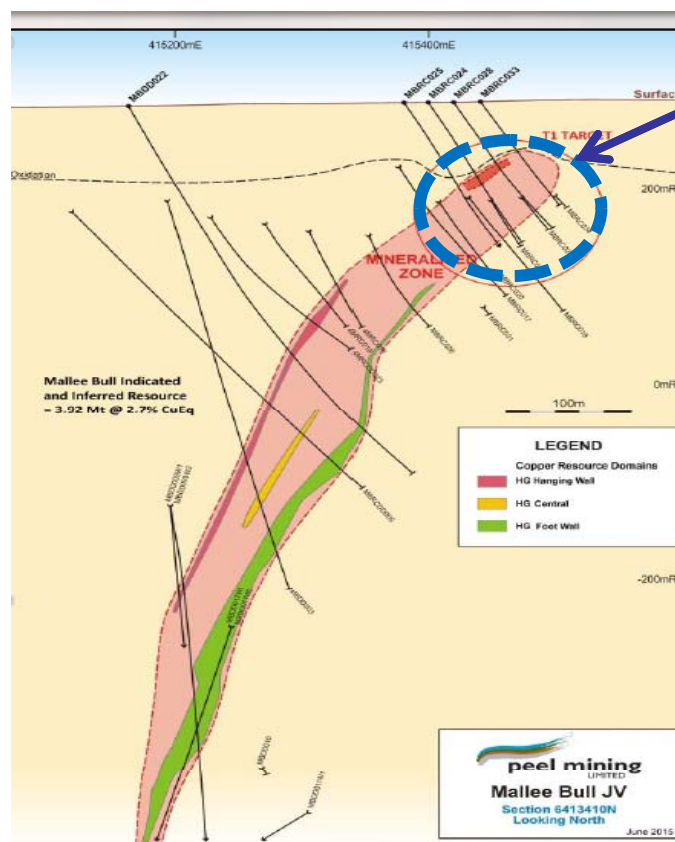
## Cエリア: 既存鉱体最深部のさらに深部

今年度開始された探査により新たに**百万トン以上の規模で鉱量が存在する可能性**が示唆されている



# マリーブル探査プロジェクトの状況

- 資源量(2016年11月時点) 約5.0百万トン 銅相当品位 2.66%
- 上記資源量とは別に地表付近に亜鉛・鉛の高品位箇所(T1ターゲット)の存在を確認し、追加探鉱と採算性評価を実施中



T1ターゲットの探査結果一例  
(Peel Mining社公表資料より引用)

掘削深度83mより12m 区間  
@ 35.1% Pb/Zn, 308 g/t Ag, 1.59 g/t Au

掘削深度71mより7m 区間  
@ 34.1% Pb/Zn, 203 g/t Ag, 0.58 g/t Au

掘削深度106mより10m区間  
@ 23.4% Pb/Zn, 322 g/t Ag, 1.28 g/t Au

マリーブル 鉱床断面図

## 資源事業の取り組み

### 既存鉱山の収益改善と可採鉱量の確保

- 操業の安定・効率化
- コスト削減の徹底
- 可採鉱量確保のための探査活動の推進

### 新規案件の発掘と投融資の実施

- マリーブル等の現行保有プロジェクトの推進
- 新規の探査・開発・投資案件の発掘